

# 社研ニュース

令和4年9月7日  
社研ニュース No.4  
川崎市立小学校社会科教育研究会

今年度の夏休みも例年に変わらず厳しい暑さが続きましたが、いかがお過ごしでしたでしょうか。県内臨地研修会につきましては、残念ながら社会情勢を踏まえて開催を見送らせていただきましたが、授業づくり研修会、第2回教育課程研究会を無事開催することができました。多数のご参加をいただき、ありがとうございました。引き続き夏休み明けの社研活動もよろしくお願いいたします。

## <9～11月 社研活動予定>

日付	曜	主な研究活動	主な内容 (会場)
9月7日	水	主任・会員研修会②	各支部での作品展におけた研修など (南：田島小 中：平間小 北：中野島小)
9月21日	水	学年別授業研究会②	常任委員学年研究部会の授業提案 (3年：下作延小 6年：南野川小)
10月21日	金	社会科作品展搬入・研修会	夏休み自由研究作品などの作品展(作品搬入時には、 展示作業とともに研修会を行います) 川：旭町小 幸：小倉小 中：宮内小 高：南原小 宮：稗原小 多：南生田小 麻：岡上小
10月22日 23日	土 日	社会科作品展	
10月24日	月	社会科作品展搬出	
11月2日	水	川崎が考える 社会科授業研究会	常任委員の授業提案(6年)と、講師をお招きしての 講演会 (大戸小)
11月16日	水	支部授業研究会	各支部会場校での授業提案 (南：川中島小 中：小杉小 北：千代ヶ丘小)

## またやりたい やってよかった 社会科の自由研究！

夏休みが明け、自信満々の表情で社会科の自由研究作品を提出した子どもたちも多くいたことと思います。また、今後各校では社会科作品展への出品作品を検討する機会もあるでしょう。ぜひ、普段の社会科授業と同じく、具体的な子どもたちの工夫や努力、学ぶ姿勢のよさなどを価値づけし、ほめて伸ばしたいものです。様々な角度から子どもたちの「学びの宝物」を見つけ出し、伝えていきましょう！

確かにそれは不思議！  
鋭く目を向けたね！

こんなところに、一人一人の  
学びの宝物が！

～をして詳しく調べたね！  
工夫したまとめ方だね！

・問題発見 ・テーマ設定

・予想、研究計画

予想や調べ方に  
～の学習を生かしたね！

・調査・追究 ・情報の整理

・まとめ、ふりかえり

大切な気づきが生まれたね！  
研究したからこそその“学び”だね！

## 9/21 学年別授業研②開催！

### 3 年部会 会場 川崎市立 下作延 小学校

単元名「店ではたらく人と仕事」 ～わくわくをお客さんに～

#### ●単元のご紹介

地域に見られる販売の仕事についての単元です。販売の仕事は、消費者の需要を踏まえて売り上げを高める工夫をしていることを学習していきます。販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連づけて考え、表現できるようにしていきます。

#### ●ここ見て！ポイント

販売単元で多くの学校が取り上げているスーパーマーケットを事例に教材化しました。学区にあるスーパーマーケットが、売り上げをより高めるために、売り場や従業員の配置を大きくリニューアルしました。お店側のリニューアルした意図と消費者の願いを関連づけて思考する子どもたちの姿に注目してください。

### 6 年部会 会場 川崎市立南野川小学校

単元名「武士の政治が始まる」

#### ●単元のご紹介

源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いなどを調べることを通して、武士による政治が始まったことを学習していきます。武力による強さと政治の仕組みとの両面から、武士はどのように力をつけていったのか単元を通して考えていきます。

#### ●ここ見て！ポイント

本時では、兵力や戦い方に違いがあったけれども、鎌倉幕府が元を二度も退けることができた理由について、鎌倉幕府の政策などの既習事項をもとにして話し合います。御恩と奉公や政治の仕組みによってつくられた関係に着目して子どもたちが話し合う姿に注目していただきたいです。

## 社研ウェブサイト 開設しました

各学校や他研究会用ウェブサイト同様、クロームブック及び一般のインターネット端末からも見ることができます。伝統ある川小社研の取組を幅広くお伝えしていきたいと思っております。すでに「川崎市版指導計画」を載せていますが、今後より授業に生かせるようコンテンツを充実させていく予定です。ぜひご活用ください。

## 7/6 学年別授業研①

4年部会 会場 川崎市立 平 小学校

単元名「ごみはどこへ」～身近な取り組みから、ごみの減量について考える～

### ●部会報告

本実践では、「人の姿が見える教材」や「ごみの課題に関する教材」を用いたり、教材を子どもの実態に合わせて提示方法を工夫したりしたことで、子ども達の意欲的な姿が見られました。ふり返りでは、「ごみを手作業で分別しているひとは多分大変だから、これからも分別を続けようと思う。」など、人の思いに共感しながら「選択・判断」する姿が見られました。研究協議では、ごみの単元における「選択・判断」で求める姿や本時の学習の流れについて、検討していきました。指導講評では、全体交流の後に、自分自身で学習問題に対して問い直す時間が必要であることなどをお話頂きました。子どもの実態を大切にすることや単元の終わりの姿の在り方を考えさせられた有意義な授業研究会となりました。

5年部会 会場 川崎市立 野川 小学校

「米作りのさかんな地域」～南魚沼の米作りからこれからの農業を考える～

### ●部会報告

授業では南魚沼で稲作を行っている M さんが営業する店舗を取り上げ、「なぜお店までやっているのか」について考えました。玄米を使ったベーグルを販売していることに着目し、前時に学習した日本の農業の課題と関連付けながら米の魅力を広め、これからの農業を支えていきたいという M さんの思いに気付くことができました。

協議会ではグループと全体で話し合いました。M さんの取り組みから日本の農業へ視野を広げていくためにどのような単元の流れが良いのか、また稲作における多角的な視点などについて貴重なご意見をたくさんいただきました。ご参観いただき、ありがとうございました。

## 7/27 社会科授業づくり研修会

**会場** 川崎市立 中野島 小学校

昨年度同様、午前中のみで開催でしたが、参加者 191 名と今年度も大盛況でした。参加者の皆様が目的意識をもち、活発に質問や意見を出してくださったことで、非常に実りある研修となりました。ありがとうございました。

### <参加者の声> ※一部抜粋

- ・研修の中で講師の先生がお話ししてくださった「子どもたちが川崎市のまちを愛せるように」という言葉がとても印象に残っています。知識や表面的な気づきではなく、子どもたちがこのまちに愛着をもって学習できるよう、教材研究や授業づくりを行っていきたいと思いました。夏休み明けから新しい単元に入ります。今日の気づきを大切にして、学んだことやいただいた資料をもとに授業づくりを行ったり、学年や学校の中で共有したりしていきたいと思います。
- ・指導案を作成するにあたり、単元計画や本時について基本的な内容から実践例まで丁寧に教えていただきました。すぐに今後の授業につながっていくことばかりで、常任委員の先生方が普段されている授業の進め方についても、たくさん聞くことができました。夏休み明け、学習問題づくりと振り返りに力を入れて、取り組んでいきたいと思います。
- ・他県から来て間もないので、川崎の風水害や市で取り組んでいることなど知らないことが多く、非常に勉強になりました。また、子どもたちに調べ学習や身近に災害があることに気づかせて、どのようなことができるか子どもたち自身が考える学習をできるように授業に取り組んでいきたいと思います。
- ・教員として2年目で、社会科を初めて児童に教えることになり、基礎を学ぶために参加させていたがきました。反応を高めるためのアイスブレイキングから始まり、児童の声を聞きながら作ってゆく学習問題に感心させられてばかりでした。実際に自分たちで作っていくとなったときに、まずニヶ領用水とはなにか、児童と同じ視線で考えながら導いていくことの難しさを痛感しました。「なぜ」と「どのように」など今まで何気なく使っていましたが、ねらいによって使い分けることの重要性を学ぶことができ、まずはそこから夏明けに始めてみようと思うことができました。